



ユリルラリガ

C102会場限定ラクガキ本だったかもしれない本  
**FOR ADULT ONLY**

SM調教プレイ快樂に  
ハマってしまったスカサハ師匠

肉便器調教にハマってしまった  
スカサハ師匠は今日も調教じて欲しいとオレの所に…  
それも肛門を躡けて欲しいらしい♪

「なぜか…またアソコが疼いてしまってな…  
鍛錬にも身が入らないらずで……  
困った体になってしまったものだ…」

照れながらそんなこと言いつつ  
師匠のおマンコも肛門もすっきり  
準備できてるみたいで

股間からはムワリとイヤらしい匂いが  
漂い始めていた♪



ならばとオレは  
師匠のバックに周り  
チンポでさらに激しくかき混ぜる  
ことにした



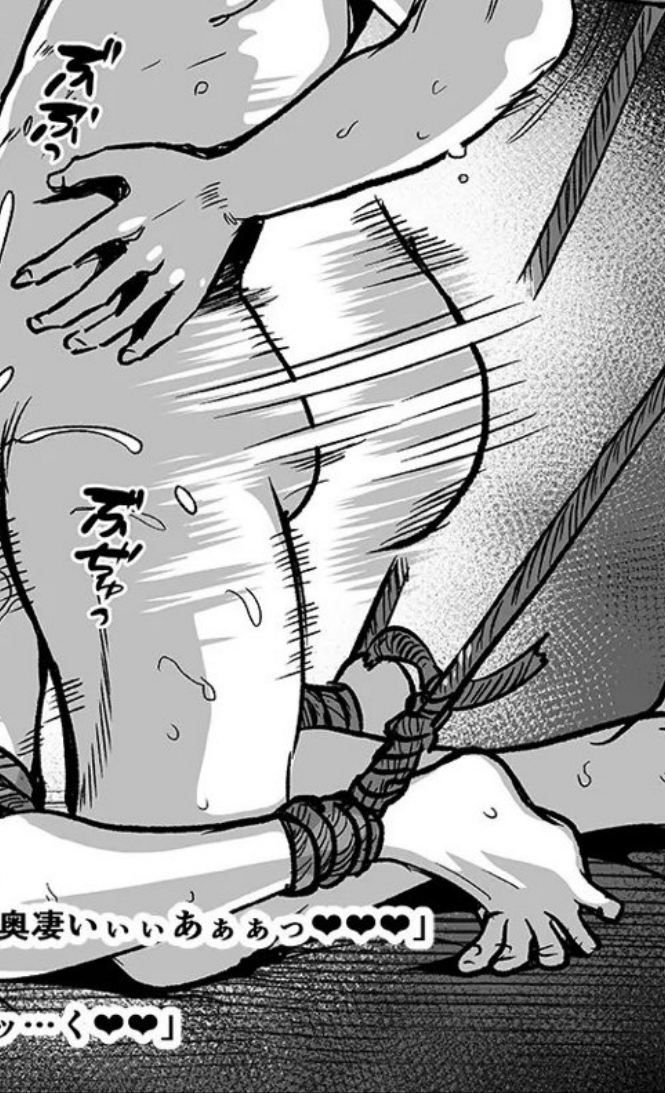
「おちんちんっ♥来た♥♥」

「ああ♥あああっ♥♥♥」

「あっああああ♥♥おっお尻いい♥♥」

「壊れっ……♥あはあっ♥♥♥奥妻いいあああっ♥♥♥」

「おおおっイ…っ♥も…もう…いっ…く♥♥」



「あと1時間は逝ったら駄目ですよ  
もし逝ったら罰ですよ」

一時間

「ひっ…ひひりかんツツ!!?」

「ぶぐう…む…むひいだ…  
そんなにたへるらんで…おおお♥」

「なら奴隷豚みたいに  
ブヒブヒ言いながら  
なら特別に一回逝っても  
いいですよ♪」

豚  
「ぶっぶら!?!」

「それが嫌なら  
我慢ですよ師匠♪」

「ううううううふうぶぐうっ  
あっおおおおあおお♥♥  
いいぐうううううああああ…っ」

「ブヒィィィィ♥ブヒッ♥♥♥  
ブヒブヒい♥♥ブヒィィィィィィ♥♥♥♥  
イグウウウウううううああああ」



あはれ

あはれ

Fusion

Fusion

Fusion

あはれ

R.I.P.

Fusion



「はあ...はあ...はあ...♡」

その後、何度も絶頂した師匠は  
幸せそうでした♪







